

令和8年度第二回横浜市旭区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和8年7月16日（木） 9時00 分～12 時00 分
開 催 場 所	旭区役所 1号会議室
出 席 者	横山委員、葛西委員、富野委員、徳久委員、内田委員(計5名)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（一部非公開）傍聴者0人
議 題	－開会－ 1 本日のタイムスケジュール等について 2 応募者の資格審査・財務状況等について 3 公開ヒアリング 4 本審査 －閉会－
会 議 内 容	－開会－ 「横浜市旭区民文化センターサンハート指定管理者選定評価委員会運営要綱」第7条第3項に基づき、本委員会が成立していることを確認。委員長による開会宣言。 1 本日のタイムスケジュール等について 事務局から公開ヒアリングのタイムスケジュールについて説明 2 応募者の審査資格・財務状況等について【非公開】 （1）応募者の資格審査 事務局から ア 公募要項に規定する応募者の資格要件を満たしていること イ 公募要項に規定する欠格事項については、本市入札資格の制限がない旨、労働保険料及び法人税・消費税等の滞納がない旨について確認したことを報告 ただし、暴力団などの統制下でないこと及び法人市民税等の市税の滞納状況については、所管局に照会中のため、応募者から提出された「欠格事項に該当しない宣誓書」を基に、応募資格があることを前提に審査していた だく旨を事務局から報告 （2）応募者の財務状況 応募者の財務状況について、財務の専門家の委員から報告 3 公開ヒアリング 応募者による提案内容の説明（20分以内）及び提案内容について、委員からの質疑（20分程度）を実施 4 本審査【非公開】 応募書類及びヒアリングに基づき審査を行った。 委員長による閉会宣言。 －閉会－
審 議 内 容	応募書類及び面接審査（応募団体プレゼンテーション・質疑応答） （公開、ただし応募者の関係者は除く） 応募団体は1団体で、プレゼンテーション及び質疑応答による審査を実施。団体ごとに評点表を記載し、最後に現指定管理者の評価を行った。 【主な質疑内容】 （委 員）高齢化が課題とあるが、新しいサークルを作るのか既存をてこ入れするのか。

	(団 体) 高齢者やサークルに限らず、全体的に利用者の発掘をしたい。施設としてサークルの存在を知ってもらうための窓口的な役割を果たしたい。特に、若年層に対しては情報発信を強化していきたい。 (委 員) 施設の稼働目標について、貸館利用率と利用者の上昇率が異なるが、どういふことか。 (団 体) 貸館利用率と利用者の上昇率は必ずしもイコールにならないと思っている。人気の高いイベントを開催して、1つのイベントに対する集客力を上げたい。 (委 員) 事業の本数が多いが、事業担当は3人しかいない。人員配置に支障はないか。 (団 体) 特に問題ない。本社からも応援がある。 (委 員) 施設保守点検について、舞台関係の保守が記載されていないが。 (団 体) 保守点検は技術スタッフも日常的に行っている。保守点検報告書は区へも提出している。 (委 員) 収支に記載されている消費税の項目について記載がないが、JVのうち代表企業が税申告を行っているのか。それとも各構成企業がそれぞれ行っているのか。 (団 体) 共同事業体ではそれぞれの構成員が納税している。各企業の役割分担によって決めた配分に応じて納税を行っている。 (委 員) 施設としての収支を確認するためにも、消費税の概算額を計上して記載してほしい。 【今後について】 (委 員) 公開ヒアリングについては、審査にかかわる採点項目に関して偏ることなく発表していただけるようお願いしたい。
審 査 結 果	1 指定候補者について 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体【合計点：935点】 2 選定結果報告書等について 事務局で（案）を作成し、委員長による確認のうえ確定とする。
添 付 資 料	1 資料 (1) 選定委員会委員名簿 (2) 座席表 (3) タイムスケジュール (4) 公開ヒアリング留意事項 (5) 公募要項・業務の基準 (6) 横浜市旭区民文化センターの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱、横浜市旭区民文化センター指定管理者選定委員会運営要綱 (7) 令和5年度実施横浜市旭区民文化センター指定管理者業務評価報告書（抜粋） (8) 審査報告書（案） (9) 評点表